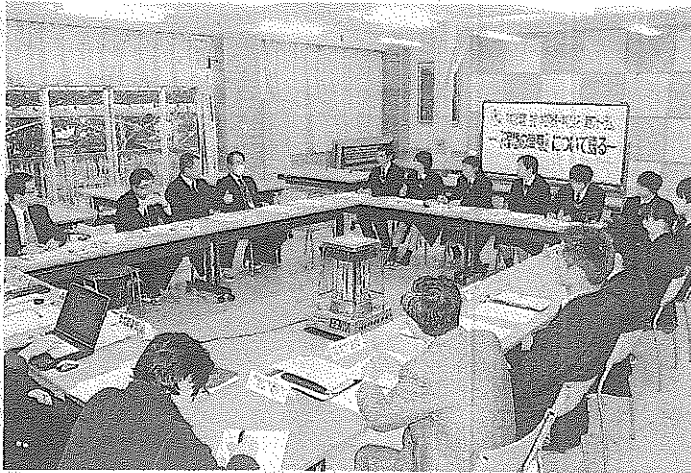


魅力ある学校づくりを

津山商高 生徒と評議員意見交換



生徒と学校評議員が意見交換したフォーラム

津山商業高(津山市山北)で18日、生徒と学校評議員らが魅力ある学校づくりへ向けて意見を交わす初のフォーラムが開かれた。新旧の生徒会役員8人とOBや地元経済界

などから選ばれた学校評議員4人、教職員9人が出席。吉田信校長が「さまざまな視点から意見を出し合ってほしい」とあいさつした。「理想の津商」をテーマにした意見交換で

は、評議員が「どんな理想を持って生徒会役員になったのか。達成度は」などと質問。生徒は校内でのあいさつの徹底や学校行事の盛り上げ、部活動の活性化など目標を答える一方、なかなか思うようにはいかない現状について説明した。

評議員は歴史上のリーダーの名言を紹介したり、会社の組織運営を例に挙げるなどして生徒にアドバイス。生徒会長の2年松下友香さん(17)は「社会人と正面から話し合うことで自分たちに足りないものが見えた。自分自身の成長が学校にプラスになることが分かった」と話した。

同高の学校評議員は

計6人で年3回、学校は社会人の客観的な意見の評価・助言を行見を生徒会運営に生かすのが狙いで今後、定期開催する予定。

(入野晶彦)